

## 【選択:博物館を利用した教育プログラムと資料の活用法】

### ■開講日程

- ◇事前学習期間 2021年11月18日(木)～11月29日(月)  
◆双方向型ライブ配信日時 2021年12月11日(土)13時～15時10分(休憩含)  
◇修了試験 2021年12月11日(土)15時20分～ [試験時間1時間]

■**担当講師** 柿崎 博孝(教育博物館 客員教授) / 宇野 慶(教育博物館 教授) / 栗林 あかね(教育博物館 講師)

■**主な受講対象者** 小学校教諭、中学校教諭

### ■講習の概要

この講習では博物館の役割や活動を理解し、学校教育との連携、および博物館資料の活用という面から、博物館における学びの機能と資料を活用した教育プログラムの可能性を探っていく。また理論面での講義のほか、教育博物館でのワークショップやグループワークをもとに博物館の教育活動を具体的に体験することで、博物館と学校教育に関する今後の展望について共に考えていきたい。

### ■到達目標

1. 博物館の役割や活動の全般的内容について理解する。
2. 博物館の教育活動の内容、博物館における利用可能なコンテンツ、利用方法を理解する。
3. 博物館の教育プログラムの実践的知識や技術を理解する。

### ■講習内容

1. 博物館の教育活動
  - (1) 博物館の機能と活動
  - (2) 博物館教育の特徴
  - (3) 来館者の博物館体験と教育活動
2. 博物館と学校教育
  - (1) 学校教育との連携
  - (2) 博物館と学校教育をめぐる最近の動向
3. 演習
  - (1) 美術作品を活用した対話型ギャラリートーク
    - ・対話型ギャラリートークの目的と意義
    - ・対話型ギャラリートークの実践  
(講師がファシリテーターとなり、受講者とともに対話型鑑賞活動を行う)
  - (2) 江戸時代の和装本を活用したハンズオン体験とワークショップ
    - ・ハンズオン体験の目的と意義
    - ・ハンズオン体験の実践
    - ・ワークショップ(和装本をつくろう)

### ■受講上のテキスト及び教材(いずれも本学より無料送付)

- ・テキスト:柿崎博孝・宇野慶『博物館教育論』(玉川大学出版部 2016)
- ・ワークショップ:ワークショップ用材料(和紙・針・綴じ糸)

◇事前学習(3時間)

1. 動画視聴およびテキスト学修

- ①博物館を知る－機能と活動／博物館教育の特徴
- ②博物館と学校教育の連携／最近の動向

◇双方向型ライブ配信(2時間)

◇修了試験(1時間)

以上